



追加型投信 / 内外 / その他資産(転換社債)

世界好利回りCBファンド2017-07

(為替ヘッジあり)(限定追加型) / (為替ヘッジなし)(限定追加型)

(受益者限定資料)

ポートフォリオ構築のお知らせ

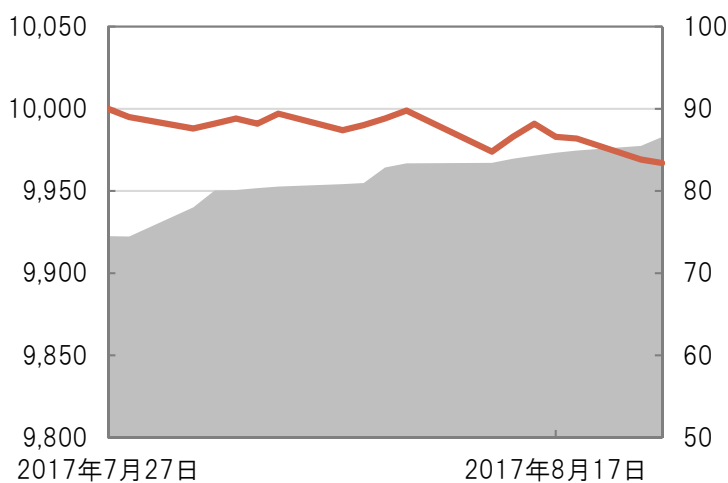
ファンド情報提供資料
データ基準日2017年8月22日

※本資料は「世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型) / (為替ヘッジなし)(限定追加型)」のポートフォリオ構築を受益者のみなさまにお知らせするために作成したものであり、ファンドの売却ならびに他商品の購入申し込みを推奨・勧誘するものではありません。
※本レポートは、ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド(ロンパー・オディエ)の資料を基に作成しております。

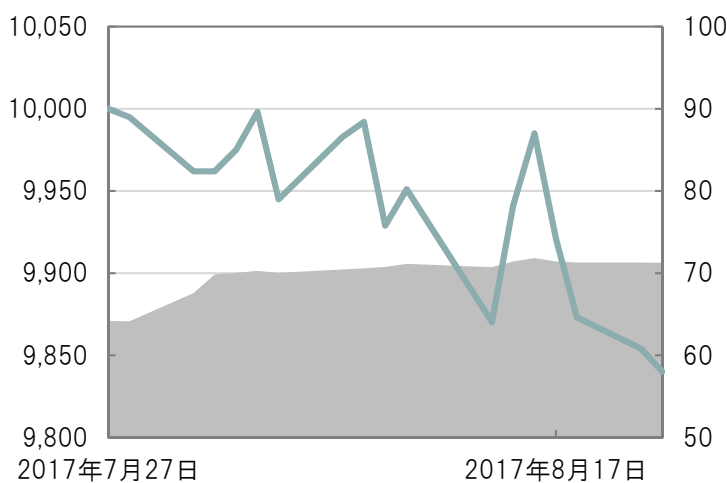
平素より、「世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型) / (為替ヘッジなし)(限定追加型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは2017年7月27日の設定日以降、市場環境を勘案しつつ、当初ポートフォリオの構築を行いました。つきましては、2017年8月22日現在のポートフォリオの状況等についてご報告申し上げます。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ファンドの基準価額・純資産総額の推移 (2017年7月27日(設定日)~2017年8月22日)

為替ヘッジあり



為替ヘッジなし



2017年8月22日現在

基準価額	9,967円
純資産総額	86.6億円

2017年8月22日現在

基準価額	9,840円
純資産総額	71.3億円

※基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。

設定日以降の市場環境とポートフォリオ構築の状況

ファンド設定日以降のグローバルCB市場は、米国のトランプ政権の政策遂行力に対する懸念が高まったことや、北朝鮮を巡る地政学的リスクが高まったこと等を受けて、世界的に金利が低下したことはプラス要因となったものの、株式市場が下落したこと等がマイナス要因となり、下落(利回りは上昇)しました。以上のような市場環境の中、当ファンドでは、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界のCB市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資し、ポートフォリオの構築を行いました。

ポートフォリオ構築期間中は、当初組入を想定していた銘柄を中心に買い付けを行いました。また、新たに発行され、相対的に利回りの魅力度が高いと判断した銘柄も組み入れました。その結果、金融セクターへの組入比率が想定よりも高まりました。

今後のグローバルCB市場については、当面は世界的な低金利環境が継続すると想定される中で、高い利回りを求める投資家の需要がCB市場を下支えする要因になると考えています。こうした環境下、保有銘柄の信用状況等を継続的に注視する一方、原則として償還または繰上償還請求可能日まで保有することを基本として、利子収益の確保および値上がり利益の獲得をめざして運用を行います。

(出所)ロンパー・オディエのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

・グローバルCB市場についてはトムソン・ロイター・グローバルCBインデックスを参考にしています。

■上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型) / (為替ヘッジなし)(限定追加型)

運用状況(2017年8月21日現在(現地時間))

当ファンドが実質的に投資するマザーファンドの運用状況は、以下のとおりです。

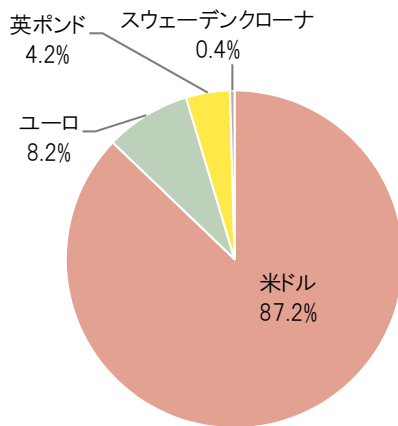
ポートフォリオ特性

最終利回り ^{※1}	4.35%
平均残存年数 ^{※2}	3.39
平均格付け ^{※3}	BBB-
株価連動率 ^{※4}	13.86%
銘柄数	28

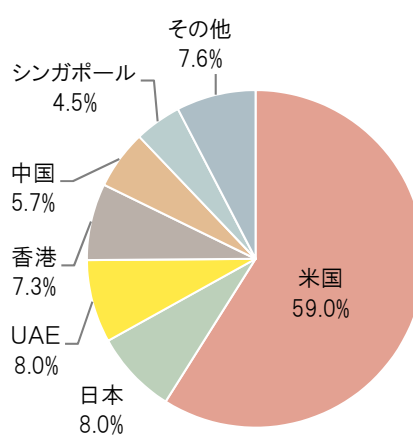
資産構成

CB	89.34%
普通社債	9.62%
現金等	1.04%

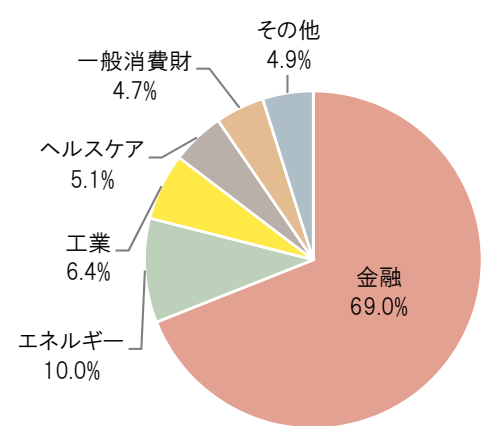
通貨別比率



国・地域別比率



業種別比率



組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	通貨	組入比率
1 静岡銀行	日本	金融	米ドル	8.0%
2 エイリス・キャピタル	米国	金融	米ドル	8.0%
3 アーバー・インベストメンツ	UAE	金融	ユーロ	8.0%
4 プロスペクト・キャピタル	米国	金融	米ドル	7.9%
5 スピリット・リアルティ・キャピタル	米国	金融	米ドル	7.9%
6 チャイナ・オーバーシーズ・ファイナンス・インベストメント	香港	金融	米ドル	7.3%
7 コスモス・ブーム・インベストメント	中国	金融	米ドル	5.7%
8 ブラックロック・キャピタル・インベストメント	米国	金融	米ドル	5.0%
9 インパックス・ラボラトリーズ	米国	ヘルスケア	米ドル	4.7%
10 BWグループ	シンガポール	工業	米ドル	4.5%

・国・地域はBloombergによるCountry of Riskに基づき、業種はBloombergによる業種分類(BICS Level 1)に基づきます。

(出所)ロンパー・オディエ、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記(資産構成以外)は現物債券評価額に基づき算出しています。・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※1 上記最終利回り(4.35%、2017年8月21日現在(現地時点))は、各CB等を償還日まで(CBについて株式等への転換は考慮しません。プットオプション付CBの場合はオプションの権利行使日をCBの償還日とみなす場合があります。)保有した場合の利回りを加重平均して算出しています。また、費用やヘッジコスト等を考慮したものではありません。組み入れたCB等は、期間の経過に伴い順次償還を迎えるため、上記最終利回りがファンドの信託期間中を通して得られるわけではありません。CB等の償還金等については、原則として信託期間内に償還日を迎えるCBに再投資を行います。再投資するCBは当初投資したCB等に比べ、低い利回りのものである可能性があります。また、市場動向や残存期間等によっては、CBへの再投資が困難なことがあり、その場合には、信託期間内に償還日を迎える普通社債や国債等に再投資することがあります。再投資する普通社債や国債等についても、当初投資したCB等に比べ、低い利回りのものである可能性があります。したがって、ファンドの償還日が近づくにつれ、ファンド全体の利回り水準が低下する場合があります。

※2 プットオプション付のCBはオプションの権利行使日を償還日として算出している場合があります。

※3 基準日時点の各CB等に係る信用格付け(S&P、Moody's、Fitchのうち最低の格付け)、外部格付けが付与されていない場合はロンパー・オディエの社内格付け(ポートフォリオ全体の41.0%)を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付けではありません。

※4 CBの価格が転換対象となる株式等の価格変動にどの程度連動するかを表す指標です。なお、普通社債は0%として計算しています。

■ 上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型)／(為替ヘッジなし)(限定追加型)

【ファンドの目的】

日本を含む世界各国の転換社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

【ファンドの特色】

- 特色1 日本を含む世界各国の転換社債(以下「CB」という場合があります。)等を主要投資対象とします。
- ・世界好利回りCBマザーファンド2017-07への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のCB等に投資を行います。
 - ・銘柄選定にあたっては、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界のCB市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行うことを基本とします。
 - ※信用格付けが投資適格未満(BBB一格相当未満)の銘柄への投資も行います。また、当初ポートフォリオ構築時において、純資産総額の上限10%の範囲内で、信託期間内に償還日を迎える普通社債等への投資を行う場合があります。
 - ・原則として信託期間内に償還日を迎えるCB等に投資を行い、償還日まで保有することを基本とします。なお、運用者の判断により、償還日前に売却することがあります。
 - ・CB等の償還金等については、原則として信託期間内に償還日を迎えるCBに再投資を行います。ただし、市況動向や残存期間等によっては、信託期間内に償還日を迎える普通社債や国債等に再投資することがあります。
- 特色2 信託期間が約5年の限定追加型の投資信託です。
- 特色3 為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。
- ・(為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
 - ・(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。
- 特色4 CB等の運用にあたっては、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(ヨーロツパ)リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。

■分配方針

- ・年1回の決算時(7月29日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2018年7月30日です。)

■ファンドの仕組み

運用は主に世界好利回りCBマザーファンド2017-07への投資を通じて、日本を含む世界各国のCB等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

【投資リスク】

基準価額の変動要因：ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

CBは、一定条件で株式等に転換できる債券であるため、株式と債券の両方の価格変動リスクを負っています。CBは、株式等に転換する条件である転換価格を基準として、株式等の価格が転換価格より高いほど株式等の価格変動の影響を受けやすく、株式等の価格が転換価格より低いほど市場金利変動の影響を受けやすくなり、組入CBの価格の下落は基準価額の下落要因となります。なお、転換の対象となる株式等の価格は、株式市場全体の動向のほか、転換対象となる株式等の発行体の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。また、CBの価格は、市場金利の変動の影響を受けて変動します。一般に市場金利が上がると、CBの価格は下落します。市場金利の変動によるCB価格の変動は、一般にその債券の残存期間が長いほど大きくなる傾向があります。CBの発行条件によっては、発行体の裁量により額面相当額の株式等で償還される場合があります。額面相当額の株式等での償還が発表された場合、CBの価格が下落することがあります。また、株式等で償還された場合には、当該株式等を売却するまでの期間、株式等の価格変動の影響を受ける場合があります。また、普通社債や国債等の価格についても、市場金利の変動の影響を受けて変動します。組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

■世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型)

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。その場合、為替ヘッジ効果が得られない可能性や、円と当該通貨との為替変動の影響を受ける可能性があります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

■世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジなし)(限定追加型)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

信用リスク

CB等の発行体等の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、CB等の価格が下落(利回りは上昇)すること、利払いや償還金の支払いが滞ること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

流動性リスク

CB等を売買しようとする際に、そのCB等の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

カントリー・リスク

ファンドは、新興国のCB等に投資を行います。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

低格付債券への投資リスク

ファンドは、格付けの低いCB等に投資する場合があります。格付けの高いCB等への投資を行う場合に比べて、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型)／(為替ヘッジなし)(限定追加型)

- **CB等の再投資に関する留意点** CB等の償還金等については、原則として信託期間内に償還日を迎えるCBに再投資を行います。再投資するCBは当初投資したCB等と比べ、低い利回りのものである可能性があります。また、市況動向や残存期間等によっては、CBへの再投資が困難なことがあり、その場合には、信託期間内に償還日を迎える普通社債や国債等に再投資することがあります。再投資する普通社債や国債等についても、当初投資したCB等と比べ、低い利回りのものである可能性があります。したがって、ファンドの償還日が近づくとつれ、ファンド全体の利回り水準が低下する場合があります。
- **その他の留意点**
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のペーパーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。
- **リスクの管理体制** ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

【お申込みメモ】

換金単位

販売会社が定める単位
販売会社にご確認ください。

換金時

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込不可日

次のいずれかに該当する日には、換金はできません。
・ ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行、香港取引所、香港の銀行の休業日

申込締切時間

原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

換金制限

ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

換金申込受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた換金のお申込みの受付を取消すことがあります。

申し込み

信託期間

2022年7月26日まで(2017年7月27日設定)

繰上償還

各ファンドについて、受益権の口数が20億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

決算日

毎年7月29日(休業日の場合は翌営業日)
※初回決算日は2018年7月30日

収益分配

年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。)

収益分配金は税金を差引いた後、決算日の基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。

※分配金を再投資せず、お客さまの指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、定期引出契約をお申込みください。

課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

その他

世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型)／(為替ヘッジなし)(限定追加型)

【ファンドの費用】

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	2017年8月19日以降、購入のお申込みはできません。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.7% をかけた額

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.0584%(税抜年率0.98%) をかけた額
保有期間中 その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・ 監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・ 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・ マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額 ・ その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ国際投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	以下の通り

設定・運用 … 三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

【販売会社情報】

商号	登録番号等	加入協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【本資料に関するご注意事項】

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。